

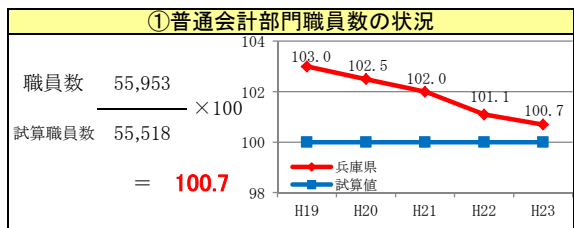
参考指標による職員数等の現状・分析シート

兵庫県

<基本データ>

団体名	兵庫県
人口(H23.3.31)	5,580,139 人
面積(H23.10.1)	8,396 km ²
全職員数(H23.4.1)	60,984 人
普通会計部門	55,953 人
一般行政部門	6,909 人
教育部門	36,784 人
警察部門	12,260 人
公営企業等会計部門	5,031 人
財力指数(H22)	0.61

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。



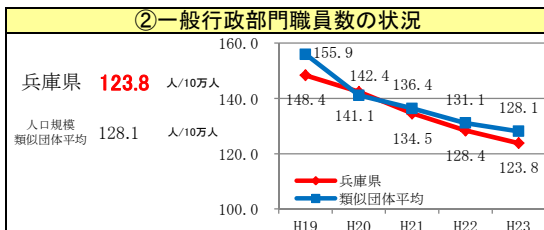
※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>

- ・太線(赤)は 兵庫県 の状況を表しています。
- ・細線(青)は道府県の平均値等を表しています。

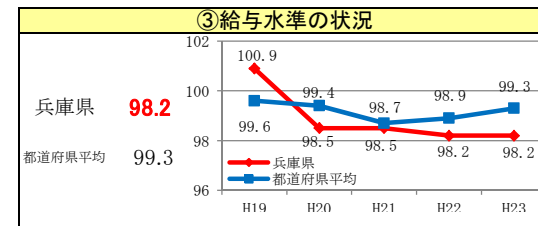
①普通会計部門職員数の状況

100.7



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

123.8 人



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

98.2

②一般行政部門職員数の状況

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

普通会計職員数は試算値との比較値で100.7となっており、概ね平均的な水準と考えられる。

また、第2次行革プランに基づき、一般行政部門等で概ね3割の定員削減(H20年～H30年)に取り組んでおり、今後も計画的な削減による比較値の逡減を見込んでいる。

なお、教育委員会の教職員や警察官等については、法令等の配置基準に基づき適正な配置を行っている。

【②一般行政部門職員数の状況】

人口10万人当たりの一般行政部門職員数は123.8人であり、類似団体平均を大きく下回っている状況である。今後も第2次行革プランに基づく定員削減(H20年～H30年)を進める中、さらなる逡減を見込んでいる。

【③給与水準の状況】

平成20年度から、第2次行革プランに基づき、給料月額や期末・勤勉手当、管理職手当の減額等を行っており、ラスパイレズ指数が98.2と都道府県平均を下回る指数となっている。

今後も第2次行革プランに基づき、給与の見直しを行うこととしている。

【④その他】